

盛夏の候、同窓生の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、本年も下記の通り「八戸工業大学同窓生の集う会」および各支部総会を開催いたします。
多くの方々に集う会にご参加いただき、先生方や同級生・先輩後輩方々と交流・親睦を大いに深めていただければと考えております。
皆様お問い合わせのうえ是非ご参加くださるよう心よりお待ちしております。



第15回 八戸工業大学同窓生の集う会

第16回「八戸工業大学同窓生の集う会」

日 時：平成28年10月1日（土）18：30～
会 場：八戸グランドホテル 八戸市番町14 TEL 0178-46-1234
会 費：5,000円
申込先：dosokai@hi-tech.ac.jp（同窓会本部事務局宛）
締 切：平成28年9月26日（月）
参加申し込み

電子メールに参加会場、氏名、卒業学科、卒業年度、連絡先電話番号（ご存知の方は学籍番号もお願いします）を記載して同窓会本部事務局（dosokai@hi-tech.ac.jp）、またはそれぞれの支部申込先へお申し込みください。
同封のフリーFAX用紙でもお申込みいただけます。

関東支部総会のご案内

日 時：平成28年9月10日（土）17：00～
会 場：アルカディア市ヶ谷
東京都千代田区九段北4-2-25
TEL 03-3261-9921
会 費：6,000円
申込先：t.hirasawa007@gmail.com
（関東支部事務局 平澤亨宛）
締 切：平成28年8月26日（金）

秋田支部総会のご案内

日 時：平成28年10月15日（土）18：00～
会 場：協働大町ビル
秋田市大町三丁目2-44
TEL 018-863-2111
会 費：5,000円
申込先：m-kikuchi@akita-sousin.or.jp
（秋田支部幹事長 菊地雅敏宛）
締 切：平成28年9月30日（金）

東北支部総会のご案内

日 時：平成28年10月22日（土）17：00～
会 場：ホテルレオパレス仙台
仙台市宮城野区榴岡4-6-28
TEL 022-706-0001
会 費：6,000円
申込先：s.narasaka@eco-ls.co.jp
（東北支部長 奈良坂進宛）
締 切：平成28年10月12日（水）

北海道支部総会のご案内

日 時：平成28年8月27日（土）18：00～
会 場：KKRホテル札幌
札幌市中央区北4条西5
TEL 011-231-6711
会 費：5,500円
申込先：t.kida@k-plan-hok.co.jp
（北海道支部事務局 木田年彦宛）
締 切：平成28年8月15日（月）

北海道支部道東部会総会のご案内

日 時：平成29年3月開催予定
詳細が決定次第同窓会HPでお知らせします

北海道支部道南部会総会のご案内

日 時：平成28年10月22日（土）18：30～
会 場：海鮮立ち呑みのぶちゃん
函館市千代台町28-12
会 費：5,000円
申込先：h-yamamoto@yk-teito.co.jp
（道南部会事務局 山本浩道宛）
締 切：平成28年10月16日（日）

※各同窓会とともに大学から多数の教職員が参加する予定です。
詳しくは同窓会HP（<http://alumni.hi-tech.ac.jp/>）にてご確認ください。
未定情報や補足情報は随時大学同窓会HPでお知らせします。
※各支部同窓会への参加申し込みは、同窓会本部事務局（dosokai@hi-tech.ac.jp）でも受け付けます。

八戸工業大学 同窓会報

HiT Alumni Association Journal

第22号
8月発行

八戸工業大学
同窓会本部事務局
TEL:0178-25-8027
FAX:0178-25-3827

印刷・編集 緑同窓会事務局

HAMS（メールマガジン）会員登録のご案内

登録手順1 仮登録
普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記アドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合、QRコードからのアクセスが可能です。
hams@alumni.hi-tech.ac.jp
登録手順2 本登録
空メールを送信した携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるURLにアクセスすることで本登録が完了します。



平成27年度八戸工業大学同窓会事業報告及び収支決算報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日

事業報告

〈本部〉

平成27年6月20日(土)	第1回理事会
7月25日(土)	第2回理事会・定例代議員会
8月 8日(土)	二高同窓会納涼パーティー
10月 3日(土)	第3回理事会・第15回同窓生の集う会
11月25日(水)	工大グループ同窓会協議会
平成28年3月18日(金)	学位記授与式
3月19日(土)	第4回理事会

〈支部〉

平成27年5月16日(土)	関東支部幹事会
7月11日(土)	北海道支部総会
8月29日(土)	関東支部役員会
9月 5日(土)	関東支部総会
12日(土)	北海道支部道南部会総会
26日(土)	東北支部総会
10月30日(金)	秋田支部幹事会
11月21日(土)	秋田支部総会
28日(土)	関東支部役員会
平成28年3月26日(土)	北海道支部道東部会総会

〈分会〉

平成27年5月23日(土)	(学匠会) 幹事会
7月 9日(木)	(土木建築)同窓会合同会議
9月12日(土)	(蒼峰会) 役員会
10月 3日(土)	(水交会) 第1回役員会
平成28年3月18日(金)	(蒼峰会) 卒業記念パーティー



決算報告

一般会計

収入の部

項 目	本年度予算額	決算額	差 異
会 費	4,560,000	4,400,000	△ 160,000
会報協力費	600,000	493,410	△ 106,590
広 告 収 入	180,000	90,000	△ 90,000
雑 収 入	17,213	2,457	△ 14,756
前年度繰越金	10,739,787	10,739,787	0
計	16,097,000	15,725,654	△ 371,346

支出の部

項 目	本年度予算額	決算額	差 異
会 議 費	200,000	148,655	51,345
旅費交通費	1,100,000	1,287,830	△ 187,830
集う会経費	300,000	293,047	6,953
印 刷 費	2,900,000	2,405,080	494,920
通 信 費	50,000	50,102	△ 102
支 部 関 係	1,350,000	1,048,661	301,339
運営費関係	10,000	6,602	3,398
分会助成費関係	1,200,000	413,458	786,542
業務委託費	86,400	67,910	18,490
積 立 金	0	0	0
慶弔費関係	200,000	125,000	75,000
予 備 費	100,600	0	100,600
次年度活動費	8,600,000	9,879,309	△ 1,279,309
計	16,097,000	15,725,654	371,346

特別会計

次年度繰越金 9,879,309

収入の部

項 目	本年度予算額	決算額	差 異
当期積立金	0	0	0
前年度繰越金	20,000,000	20,000,000	0
計	20,000,000	20,000,000	0

平成27年度監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成28年5月10日

監事 夏堀 大司

監事 左館 直樹

平成28年度 定例代議員会 開催

八戸工業大学同窓会定例代議員会が六月二十五日（土）十六時から八戸プラザホテルで開催されました。昨年度の事業報告および今年度の予算、事業計画について話し合われました。議案としては次の通りです。

- 議案
- 第一号議案 次期役員（理事、代議員）の選出について
 - 第二号議案 平成二十七年同窓会事業報告及び決算に関する件
 - 第三号議案 平成二十八年度同窓会事業計画及び予算に関する件
 - 第四号議案 第十六回「八戸工業大

学同窓生の集う会」について
第五号議案 八戸工業大学同窓会表彰について

この場で、本年度の全学同窓生の集う会を十月一日（土）八戸グランドホテルで開催することが了承されました。また昨今の少子化の影響を受け、大学入学者も減少していることから、同窓会として大学存続のために協力できることを検討していき、大学および同窓会の発展につながる活動をしていくために、役員が今以上に連絡を取り合っ

て活動方針を明確に作り上げてくことが確認されました。

【役員名簿】

役職	氏名	卒業年度	卒業学科
会長	福士 信雄	昭和51年度	電気
副会長（同窓教職員会の会長）	浅利 能之	昭和51年度	電気
副会長	齊藤 克治	平成14年度	システム情報
理事	小玉 吉美	昭和50年度	機械
理事	岩本 明佳	昭和57年度	電気
理事	高橋 和雄	昭和55年度	建築
理事	原田 修	昭和60年度	エネルギー
理事	大坂 崇長	平成4年度	エネルギー
理事	石橋 宣貴	平成20年度	感性デザイン
理事	住吉 貴恵	平成21年度	感性デザイン
理事	田村 友宏	平成27年度	システム情報
理事（支部）	奈良坂 進	昭和50年度	機械
理事（支部）	西岡 邦夫	昭和54年度	産業機械
理事（支部）	工藤 嘉範	昭和54年度	土木
理事（支部）	古館 仁	平成10年度	機械
監事	左館 直樹	昭和57年度	機械
監事	夏堀 大司	昭和58年度	土木

同窓会に寄せて



八戸工業大学 第十代学長

長谷川 明

同窓生の皆さん、日頃、本学の教育や研究活動に対し、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。私、この四月から学長を務めることになりました長谷川明です。微力ですが、皆さんのお力をお借りして、本学の発展に努力したいと考えております。よろしくお願ひします。

母校、八戸工業大学は、今年創設から四十五年目を迎えています。現在、工学部、感性デザイン学部の二学部六学科、大学院工学研究科博士前期・後期両課程の三専攻を有する大学です。私立大学では、北東北唯一の工学系の博士前期・博士後期課程を有する大学です。これまで、大学院・学部を修了あるいは卒業された皆さんは、一万八千四百十名（含重複）に達しています。最近の大学組織の改編についてお知らせします。

学部では、電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科の三学科が、平成二十九年度からJABEEコースを廃止し、より魅力的な教育を目指すコースを開設します。分野によってJABEEによる資格、技術士補の位置づけが異なることも配慮されています。もちろん、JABEEから離れ

る学科が生まれても、八戸工業大学の教育プログラムの水準は継続されていきます。機械情報技術学科、土木建築工学科二学科のJABEEコースは変わりません。感性デザイン学科もコースを見直し、新しく「文化コミュニケーション」コースを追加します。

大学院では、土木工学専攻の名称が社会基盤工学専攻と変更されていますが、建築工学専攻の教員が社会基盤工学専攻に異動され、建築工学専攻は廃止となりました。建築工学専攻で行われてきた研究活動は、社会基盤工学専攻に引き継がれています。

教育、研究、そして課外活動も元気に八戸工業大学です。学園祭など機会がありましたら、ぜひ母校を訪ねて後輩たちに声をかけてください。同窓生の皆さんが大学を支える力は大きなものがあります。引き続き協力をお願いします。

最後になりましたが、同窓会の皆さんの活動が八戸工業大学を大きく支えていることに感謝申し上げます。同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。



蒼峰会活動報告

学科近況報告



工学部機械情報技術学科長

大黒 正敏

同窓生の皆様にはお元気で御活躍のことと推察致します。三年間の学務部長職（同窓会事務局長）を終えて本年度学科長に復帰しました。同窓会事務局では、集う会への参加者増に努めました。その活動は、まだまだ一緒に就いたばかりです。なおいつそう皆様の御協力をお願い致します。いきなり私事で恐縮ですが、昭和五十九年に、当時の三戸曉主任教授（平成二十七年御逝去）のお計らいにより機械工学科に赴任以来、いつの間にか勤務年数で学科教員の最古参になってしまいました。本年三月に本学体育館にて開催された「学生と企業との就職懇談会」では、いつも以上に本学科卒業生の皆様に企業担当者として出席いただき、昭和六十年代卒のある方は企業幹部として懐かしい顔を見ることができ、また、一方で入社一年目の初々しい若手社員の参加もあり、学生と面談いただきました。この誌上をお借りして御礼申し上げます。ぜひとも同窓会集う会などにもご出席いただくとお願い致します。本学科教育プログラムは、創生工学コース（日本技術者教育認定機構（JABEE）認定）、総合工学コースおよび平成十九年スタートの自動車工学コースから成り立っております。自動車工学コースは、四年連続で整備士資格（二級）合格率一〇〇%を維持するとともに、学科全体の就職内定率も一〇〇%を達成しております。本学科は今後も教育の充実に努めてまいります。同窓生の皆様の御支援は必要不可欠です。あらためて皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

卒業生近況報告



平成十五年度機械工学科卒業

ティ・ケイサービス

代表 田村 孝司

大学を卒業して早十二年が経過し、大学生活がついにこの前のように思えますが時間の流れは速いものです。この度、活動報告の記事作成依頼を頂き、私で大変恐縮ですが自己紹介と近況報告させていただきます。私は青森県八戸市で生まれ育ち、平成十五年度に機械工学科を卒業、その後地元元産業廃棄物処理大手企業に就職し勉強をさせていただいた後、平成二十七年五月産業廃棄物収集運搬業として開業し現在活動させていたいております。

現在活動させていただいている業種の紹介ですが、産業廃棄物収集運搬業とは、産業廃棄物を排出事業者が指定した排出場所から排出事業者が指定する産業廃棄物処分場までの間を排出事業者の代わりに運搬代行するという内容の業務となります。法的に産業廃棄物はすべて排出事業者責任の下で処理を行う必要があるのですが、それらを遂行するため産業廃棄物の処理に関する法的知識、それに関わる事務手続き、適切な処分業者の検討をしなければならないなどの煩雑業務が発生します。それら業務を我々産業廃棄物収集運搬業者は、運搬代行するだけではなく排出事業者が容易に処分できるようにするためのサポートを行うなど、実務レベルのコンサルティングを行うことで、円滑な処理と適正処理を行う手助けも担っているものと考えております。

開業からもうすぐ一年になりますが、開業準備や新規顧客の開拓、既存顧客のサポート他、収集に必要な機材の製作など、あっという間に終わった一年でした。五月から二年目に入り、今年は三年目の法人化移行に伴う準備、木質バイオマスエネルギーを利用した冬季

間農業の新事業立ち上げ、環境に関わる事業者として地球温暖化対策推進事業も積極的に進めていきたいと考えております。

大学時代は野田教授研究室で勉強させていただきましたが、研究室で共に過ごした同級生とは現在交流はありませんが、毎年野田研究室で参加している「EYE コラン・insitcol」の大会が今年最後の参加になるというという事で、私も応援に行きたいと考えておりますが、同級生も是非応援に駆けつけて頂き再会できたらなと個人的に思っております。

研究室での思い出ですが、とにかく先輩や同級生と色々なことについて語り合った気がします。卒論を作成するため夜通しデータの整理や解析作業を行ったりとありましたが、社会人になってからも何かをやり遂げる際の礎を築けたのかも思います。卒論作成も野田教授、大学院生、同級生の協力もあり無事作成し卒業できたことを感謝いたします。私の卒論テーマですが「冬季節農業の効率的暖房手法」という研究を行ったのですが、実は今年から立ち上げる事業に直結する内容であったことを思い出し、現在再度勉強中です。まさか学生時代に勉強した内容を再度勉強するとは思いませんでしたが、もし、どうしても行き詰るような事があれば、八戸工業大学が地元にあるため相談ができるということが救いであり、心強い存在でもあります。

最後になりますが、昨今廃棄食品横流し事件等廃棄物の不適正処理に関する事や、不法投棄事件について話題になることがあります。これら原因は処理業者が悪いだけではなく、排出事業者の法的義務を果たさなかった事が大きな原因であります。それらを防止していくためにも私どもが、排出事業者に対し適切なサポートやコンサルティングを行うことが重要であると思っております。また、地元八戸において信頼される会社であり、常に新たな提案ができる会社になる事を目標に、八戸工業大学の卒業生として恥じぬよう活動してまいりたいと思っております。

■同窓生に贈る言葉

名誉教授・前学長 藤田 成隆 先生



平成十八年三月三十日をもって
学長任期満了につき退職したも
う思えば、昭和五十年十月縁あつた八
戸工業大学工学部電気工学科にお世話
になりました。以来約四十年間勤めてきまし
た。また、勤務した翌年の三月には、
工学部三学科の一期生の卒業式に立ち
会ふことができました。約四十年の間

に、ご指導・ご支援、ご協力をお願いしたい。多くの関係者の皆さんに、この紙面を借りて厚く感謝申しあげます。

ご指導・ご助言いただいた国内外の大学教授の中で最も尊敬する当時秋田大学鉱山学部長の能登文敏先生から、「大学の教職にあずかる者には、自分の高い目標に向かって研鑽を積むと同時に、周囲の者を立派に育てる義務がある」と言われたことがあります。これまでこの言葉を時々思い出しながら教育研究に従事し、十分ではないにしても、曲がりなりにも実行できたと思っています。

さて過去を振り返ってみると、理由はともかくもすぐに幾つかを思い出します。例えば、文科力リキエラムの大改正、関東東北地域での学生募集活動、文科科学省の大型教育研究設備整備事業に採択、米国クラーケン大学にて大学院生研究指導、大学院設置申請にかかわる業務、出席システムと証明書発行機の導入、学科名称変更、日本技術者教育認定機構(CITE)による学科プログラム認定、文科科学省と経済産業省の教育研究プロジェクトに採択、新疆大学と瀋陽工業大学からの二名の大学院留学指導、研究室より四名の博士課程修了者を輩出、社会連携学術推進室・基礎教育評価センターへの名称変更、研究所の名称変更、日本高等教育評価機構(UEA)による大学認定、海外大学・機構・自治体・団体との連携協定締結、青森県航空宇宙産業研究会とあおむすデジタルアーカイブ・コンソーシアム(MUIC)の設立などです。

ここ数年間では、東日本大震災直後に立ち上げた防災技術社会システム研究センターが地域の復興・復興の支援活動を実施し、それが後に文科科学省事業として採択され、この三月までの五年間成果を挙げ、社会貢献してきました。また、文科科学省の大学教育再生加速プログラム事業に採択され、学生の弱点を詳細に分析し、それを強化する新たな教育プログラムの策定がスタートしました。さらには、(国研)海洋研究開発機構と連携協定を締結し、海洋資源開発技術者の育成事業の一部が動き始めました。

その一方で、今でも忘れられない悲しい出来事としては、帰省中の学生一名が東日本大震災で犠牲になったこと、卒業生やその家族が犠牲になったことです。震災直後から大学として被災者支援活動、ボランティア活動を始め、様々な支援活動を実施し、卒業生の皆さんに話を聞き励ましたりしました。当時執筆依頼された東奥日報の経済面の連載記事三十三回中、震災の内

容を含むものが三分の一程度。デリー、東北の場合は連載記事
十一回中、半分程度と意識して被災状況や復旧・復興、減災・
防災に関連した内容を記述した記憶があります。

喜ばしい話としては、卒業生の活躍に対して表彰する制度を
新設し、規程を整備する前を含めるとこれまで五名の卒業生を
表彰いたしました。水交会からは富士信雄社長（電気工学科
昭和五十一年度卒）が工業技術貢献賞、佐藤正一社長（電気工
学科、昭和五十六年度卒）が地域産業貢献賞を受賞しています。
平成二十三年の「蒼穹」に平成二十七年までの未来予測の一部
を記載しましたが、平成二十八年時点で合致するものが多くあ
ります。社会の変化を敏感に予測し、必要とされるものが何つ
かを根拠をもつて判断し、目的に向かって迅速かつ勇気をもつて
行動していくことが重要と考えます。

最後に、富士信雄同窓会会長 浅利能之同副会長（電気工学科
昭和五十一年度卒）、岩本明長水交会会長（電気工学科、昭和
五十七年度卒）を始め、学科卒業生の皆さんの一層のご活躍と
水交会のますますのご発展を祈念いたします。

■BB・GGだより



田名部 俊成さん

昭和五十四年 電氣工学科卒
(藤田研究室)
現在：八戸工業大学第一高等学校 教頭



後藤 翔太 さん

平成二十七年 電気電子システム学科卒
就職先…株式会社JPHaiテック

八戸工業大学卒業後六年間のプログラマー経験を活かして、母校情報科の立ち上げに伴い転職。その間に現在に至っています。企業では漢字プリンター NEC Pk-PR301 の開発に参加。パソコンブーム到来という時代背景の中、他社との開発競争激化の中で最新技術としての基礎の基礎を多く学びました。これも学生時代にしていただいたお陰だと感謝しています。特に秋田大学にお邪魔しての実験やゼミは、それまでの自分の甘さを痛感し、刺激を受ける毎日でした。恩師であり、三月まで学長を務めた藤田先生には大学系列の高校教員ということもあり、大学卒業後も色々とアドバイスをいただきました。藤田先生のお言葉「人のために技術を活かす」は今もなお念頭にあり、授業への根幹をなしています。

■同窓生としての抱負

大学院工学研究科電子電気・情報工学専攻主任
工学部電気電子システム学科長 関 秀廣 先生

今年三月に藤田成隆先生が定年退職されました。四十一年もの長きにわたる本学に奉職されたこの六十年間は学長として震災対応、認証評価、外部機関連携等に御尽力を戴きました。また、電力システム工学分野で優れた成果を上げられている本学名誉教授豊田淳一先生が平成二十七年秋の祝賀会で瑞宝中綬章を受賞されました。今年三月五日に受賞記念多数出席されました。豊田研究室卒業生も多数出席されました。今年三月の卒業生は就職率百パーセントを達成しました。電機

さて、今年三月の卒業生は就職率百％を達成しました。電機産業界の経営問題を取りざたされますが、技術は必要不可欠であることを広く伝える必要があると思つています。現在、工業大学同窓会においては、水交会から富士信雄会長、浅利能之副会長、岩本明佳理事等の陣容で運営にあたっていたいと思います。感謝申し上げます。不肖今年学長に就任致しまして、大関ですが、今後とも御支援宜しくお願い致します。

藤田成隆先生をお招きして
平成 28 年度八戸工業大学電気電子システム学科親睦会
お花見の会（於：八戸市葛籬、2016 年 4 月 28 日）木曜日



株式会社 岩本電機
IWAMOTO Electronics Company

代事取締役 **岩本 明佳** (昭和58年3月電気工学科卒)

〒028-7901 岩手県九戸郡洋野町種市 第13地割41番25
TEL 0194-65-3930 FAX 0194-65-3899
E-mail i.iwamoto@iwamotodenki.co.jp
HP <http://www.iwamotodenki.co.jp/>

平成28年度水交会総会を次の通り開催します。また、総会終了後には全学卒業生を対象とした「同窓生の集う会」が開催されます。水交会の皆様におかれましては、この機会にいずれの会もご参加頂ければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

○日時・・・平成28年10月1日（土）

17:30 ~ 18:15
三豆がにのど

○場所・・・八戸グランドホテル
(八百束采町 14 TEL 0178-46-1234)

※同日同会場で18時30分から第16回八

戸工業大学同窓会

○会費・・・無料
※同窓生の集まる会の会費は別

※同窓生の集う会の会費は別
○「水交会総会」並びに「同窓生の集う会」

の申込方法・・・

①氏名、②卒業学科、③卒業年度、④水交会
総合地球・同窓生⑤住所⑥参加の有無⑦

総会並びに同窓生の集う会の参加の有無を
記載の上、9/25（日）までにメールにてお

記事の上、9/25（日）までにメールにてお申し込み下さい。

○申込先・・・dosokai-e@hi-tech.ac.jp

○水合会UP : ...

<http://www.elec-hi-tech.ac.in/Edoso/>

土木建築工学科同窓会

同窓生の皆さんへ



学長・教授 長谷川 明

同窓生の皆さん、お元気ですか。
土木工学科も建築工学科も今年の春で開設四十周年となりました。同時に、私たちの同窓会も三十五周年を迎えます。皆さんとともに四十周年、三十五周年をお祝いしたいと思います。学科の発展に関わったすべての人に感謝申し上げます。

私たちの学科は、楽々と四十周年を迎えているわけではありません。初期は、教育や研究の活動の基盤作りで多くの苦労があったと思います。地域の建設技術者に大卒が加わることにこの理解や協力を要したと思います。近年は、少子化の影響を受けて卒業生が少なくなったため、地域の求人にも答えられない課題も発生しています。でも、課題はいつの時代もありました。同窓生の皆さんの活躍が、それを乗り越えさせているんだと思います。

私は、二十五歳で土木工学科助手として赴任し、もっぱら、構力工学、構造工学、橋梁工学を担当してきました。卒業した研究室の皆さんと、橋梁振動、最適設計、かたち、超長大橋、耐震、RC、鋼、耐津波など、様々な課題に取り組んできました。なにかの役に立っていただければと思います。今年、学長を務めることになりました。幸い、福士憲一教授が副学長に就任されましたので、一緒に、本学の発展と、同窓生の活躍に貢献できるよう、微力ではありますが努力して参ります。同窓生の皆さんが大学を支える力は大きなものがあります。引き続き協力をお願いいたします。

大学と学科の新たな船出へ



副学長・教授 福士 憲一

同窓生の皆さん、お元気でしょうか。この四月より、長谷川新学長のもと副学長を務めています。同じ学科から学長と副学長が出るのはあまり好ましいことではありません。

が、お上からの要請です。二人で相談して引き受けることになりました。案の定、素晴らしい毎日です。学科の方へはほとんど顔をみせなくなっています。授業は従来通りやっていますが、卒研はすべて鈴木先生に任せつつあります。

土木工学科に勤め始めて早や四十年目です。あつという間でした。若いころから長谷川先生の後をついて様々な「苦労」してきましたが、これからはどうも「苦労」が絶えないような雰囲気です。学科は「建設景気」のためか、当面は学生募集も就職も好調が続くでしょう。ただ、大学全体は少子化の影響が、厳しい状況は変わらなず、改革の時を迎えています。今、この辺を長谷川学長と一緒に検討中です。幸い、長谷川先生は私と違い、御名前どおり「明」です。私のやや「暗」といえるようなところや、もう一働きも知れません。「苦労」がどうのこうのと言っているのはおられません。大学と学科の新たな船出にあたり、もう一働きしようと思っている今日この頃です。ほとんど本館三階の部屋の方にはいますが、来学の際にはどうぞお訪ね下さい。

五年連続就職率100%を達成！

平成二十八年三月に卒業した土木建築工学科、大学院建築工学専攻および社会基盤工学専攻の卒業生の就職率が100%となりました。これは、平成二十四年度より、五年連続の100%達成です。業種は、建設業、道路関係、コンサルタン、ハウスメーカー、公務員など様々です。大学四年間と大学院二年間で学んだことを活かして、今後の活躍が期待されます。主な進路は以下のとおりです。前田建設工業、五洋建設、安藤・間、建築工業、熊谷組、NIPPO、前田道路、フジタ道路、ユアテック、東京水道サービス、あおみ建設、オリエンタル白石、松家ホールディングス、東洋熱工業、日本住宅、日本総合住宅生活、田中建設工業、エイト技術、田中建設、鹿内組、コンテック東日本、青工、青森県庁、花巻市役所、平川市役所など。

第九回青森土木フォーラム開催案内

土木の日（十一月十八日）を記念し、本学を主管として、土木への理解を深め土木を志す人材を育成するために、「第九回青森土木フォーラム」を開催します。

テーマ：「くらしと土木ー観光ー」

講演会（パネリストスカッションを含む）

日時：平成二十八年十一月五日（土）

十三時三十分～十六時三十分

会場：弘前市文化センター大会議室

弘前市大字下白銀町十九、四

演題：「弘前城石垣修理と観光」「津軽ダムと観光」

講師：未定

ポスター展

日時：平成二十八年十一月五日（土）・六日（日）

（五日）十時三十分～二十時
（六日）九時～二十時

会場：弘前市百石町展示館

弘前市大字百石町三番地二

土木建築工学科からは、竹内貴弘学長、長谷川明教授（学長）、金子賢治教授、迫井裕樹准教授、関川定美技術員、高島幸典技術員が参加を予定しています。また、本フォーラムは一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会および一般社団法人建設コンサルタンツ協会のCPD認定プログラムです（CPD認定書は講演会場、講演終了後にお渡しします）。同窓生の皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

月館敏栄先生退職記念講演祝賀会の報告

平成二十八年三月末を以って、月館敏栄教授が退職致しました。昭和五十二年四月に本学建築工学科に赴任以来、四十年来に渡り、学生の教育と建築計画・意匠などの研究に携わり、多くの業績をあげてこられました。さて、講演・祝賀会は、平成二十八年三月二十日に、八戸シーガルビュイホテルで、卒業生・在学生約六十名が参加し、月館先生が「新たな「地平」を目指して」と題し講演を行い、その後、祝賀会が行われました。月館先生は、今後自宅にて、雪国文化研究所（仮称）を主宰し、文化財の修復と震災復興に関わる仕事に専念することです。



土木・建築工学科設置四十周年、土木・建築同窓会設立三十五周年記念事業の報告

去る、平成二十八年七月十六日（土）に開催した、表記記念事業の結果報告を、本学科ホームページに掲載しています。是非、ご覧下さい。

土木建築同窓会へのご意見、ご要望は先までお願いいたします。土木建築同窓会事務局 迫井・高島

MAIL: dosokai-c@hi-tech.ac.jp

事務局だより

土木建築工学科ホームページには、イベント情報、Topics, Civil and Architecture ニュース、新聞記事で見る土木建築工学科などが載っていますので、是非、立ち寄って頂ければ幸いです。URLは左記の通りです。http://www.cca.hi-tech.ac.jp/

今年度の学科主催行事は、卒業研究展（会場：はち、開催日：平成二十九年三月上旬予定）、三・一一防災フォーラム（会場：八戸市民館、開催日：平成二十九年三月十一日）となっております。詳細が決まりましたら、本学科HPへ掲載致しますので、同窓生の参加をお待ちしております。

学匠会 活動報告

学匠会 学科長就任のご挨拶



工学部バイオ環境工学科長
小比類巻 孝幸

学匠会の皆様、今年度からバイオ環境工学科の学科長になりました小比類巻孝幸です。日頃から本学科へのご愛顧をいただき感謝申し上げます。

私は平成元年に一般教育部化学教室に二十代半ばで助手として赴任してから、平成十三年にエネルギー工学科に配属になり、その後、生物環境化学工学科への改組時は一期生の担任を受け持つなど、現在のバイオ環境工学科までの学科変遷を共に歩んできました。四半世紀以上を本学で過ごしてきたことになりましたが、その間、研究室やサークルでは学外実習と称した飲み会や学園祭での模擬店参加、もちろん化学実験等でのキビシいレポート指導など、学生時代の同窓生の方々のふれ合いの中で、共に八戸工大で様々なことを学んできました。現在も私の研究室では学会発表の研究を行っている学生の実験機の隣に業務用たこ焼き台が学園祭の出番を待っている環境です。ともあれ、同窓生の皆さんと同様に八戸工業大学に育てていただいた者の一人として学科の今後の繁栄に責任を持たなければいけないと思います。現在も頑張っています。

さて、私が化学分野の学問にこだわりのあるように、同窓生の皆さんにもご自分の卒業した学科の専門分野に誇りがあると思います。その中で、学科名称や教育内容の変遷に寂しさを感じる方も多くはないかと思ひます。しかしながら、大学の中でも特に工学部は、時代の流れを敏感に感じ取り、地域に必要とされる先端分野の知識と技術を提供する義務があります。その責任の中で、昭和五十七年に機械や電気系のエネルギーを中心とした設備・プラント技術の専門家を養成を目的とした学科としてエネルギー工学科が生まれ、平成十四年には化学工学、生物工学を大幅に取り入れ、環境調和型のゼロエミッション生産システムを構築でき

る環境プロセスエンジニア養成に力を入れてきました。さらに、平成二十一年からのバイオ環境工学科では八戸を中心とした食品プラントへも活躍の場を広げるべく、食品衛生管理者・食品衛生監視員の養成施設に認定されるなど、進化を続けております。また、次世代の変革として海洋も視野に入れた環境生態系の分野などにも分野を広げるべく準備しております。

以上のように、教員や学生の世代交代に合わせて、学科もより広い学問分野を習得できる、同窓生の誇りとなることを目指し変革しています。皆さんも大学を時々思い出して頂き、機会のあるときには皆さんの頑張っている姿を見せに来ていただければ何よりの激励になると思います。学科の発展のための努力を惜しまないことをお約束するとともに、同窓生の心の拠り所である学匠会のさらなるご発展をご祈念いたします。

近況報告

平成二十三年三月卒業 生物環境化学工学科 別部 光里

この度の熊本地震の被害に遭われた多くの方々からお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をお祈りいたします。

同窓会報誌に寄稿の機会を頂きました、バイオ環境工学科卒業生の別部です。近況報告ということで自分が勤めている会社や自分自身の近況を報告させて頂きます。

現在私は検査開発株式会社に入社し、茨城県の東海事業所で仕事をしています。検査開発株式会社の事業内容は、核燃料サイクル支援や土木構造物の調査・診断、環境放射能測定に工事・メンテナンス事業です。東海事業所では核燃料サイクル支援事業として、施設等の運転保守、各種分析及び放射線管理、研究支援を行っています。

私の配属先は地層処分研究をしています。地層処分とは高レベル放射性廃棄物を安定した地層に埋設する処分方法で、そのためには地下環境と同じ条件下で試験を行わなければなりません。そのため、酸素の殆どない地下環境を模擬した雰囲気制御グローブボックスを用いて放射性核種の挙動に関する試験を行っています。

入社した当初は、グローブボックスの取扱いや、管

理区域内での基本動作、放射性同位体を用いた様々な試験とその分析など学ばなければいけないことはたくさんあり、上手くやっていたらいいのだからかという不安を感じながら仕事に向かっていたように思います。しかし、辛く思わなかったのは、要領の悪い私に丁寧に指導してくださった職場の方々のおかげです。職場の雰囲気はとても良く、すぐに馴染むことができました。その雰囲気は壊さず、より良いものにできるように頑張りたいと思います。

目の前のことに精一杯で、ただ指示を受けて動いていた新入社員の時と比べると、自分で試験の段取りを考えて動けるようになった現在は成長しているかな、と思っています。これからも今でできることに全力で取り組み、多くの経験を積んでいきたいと思っています。自分自身の状況ですが、現在一人暮らしを満喫しています。一人暮らしを始めた当初は、心配性の母から「いつ青森に帰ってくるの?」と言われていましたが、最近では何も言われなくなりました。それを寂しく思いますが、趣味に専念できるこの生活にとっても満足しています。

ここまで、仕事もプライベートも楽しいと書いてきましたが、今の状況に満足せずよりよくするために努力していきたいと思っています。

最後に、八戸工業大学の益々の発展と共に皆様のご活躍を記念して終わりの言葉とさせていただきます。このようなどきめのない話に付き合ってください、ありがとうございました。



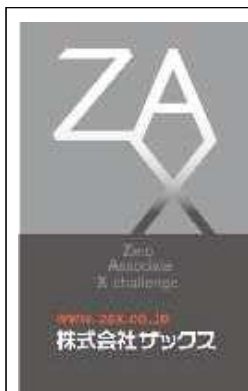
株式会社ザックス

<http://www.zax.co.jp>

理化学機器、放射線関連製品、試薬、I7-フィルター、計量証明、化学工場及び研究施設の運転・保守、等

八戸営業所 八戸市南郷家3丁目1-21
tel:0178-73-3620

統括本社：東通村 本社：六ヶ所村
事業所：弘前、青森、大間、八戸



うみねこ会 活動報告

■学科ニュース①

総合優勝で三度目の全国大会へ！

(ETロボコン二〇二五東北地区大会)

ETロボコン二〇一五(組込みシステム技術協会主催)の東北地区大会が平成二十七年九月十二日、盛岡市のいわて県民情報交流センターで開かれ、東北六県の企業や大学等から参加した計二十四チームが、規定の自律型ロボットで指定されたコースを走行するシステムを開発する部門(デベロッパ部門)と、システムを自由に企画開発する部門(アーキテクト部門)に分かれて、ソフトウェア開発の実践力を競いました。本学科からはデベロッパ部門(アドバンストクラス)に参加した山口研究室のチーム「ヒット&ラン」が、走行競技で第一位、ソフトウェアの設計審査を合わせた総合成績でも総合優勝に輝き、二年ぶり三度目となる全国大会への出場権を獲得しました。

当日行われた二回の走行競技ではリタイアするチームが続出する中、同チームのみが二回共完走し、会場を大いに沸かせました。



■学科ニュース②

キャンパスソフトハウス修了式

平成二十七年九月十八日(金)、キャンパスソフトハウス第三期プロジェクトの修了式が行われ、プロジェクトで活躍した二、三年生の学生四名が表彰されま

した。修了式では、青森県情報産業サービス協会専務理事 藤井隆氏から一人ずつ修了証書が手渡されました。メンバーの一人である滝沢君(当時二年生、前列左)は次期プロジェクトのリーダーとして活躍する予定です。

なお、八戸工業大学「キャンパスソフトハウス」プロジェクトとは、プログラマーとしての報酬を伴う業務を学生に橋渡しするもので、システム情報工学科と(一般社団法人)青森県情報サービス産業協会(MSI)が連携して運営に当たっています。



- ◎表彰された第三期プロジェクトメンバー
- ・岡田 光 (三本木高校出身) ※リーダー
 - ・木村 洸太 (八戸工業高校出身)
 - ・滝沢 健太 (八戸工業高校出身)
 - ・守 昇吾 (八戸工業高校出身)

■学科ニュース③

松坂名誉教授が日本風力エネルギー学会の「功労賞」を受賞！



システム情報工学科の学科長などを歴任された松坂知行名誉教授が、平成二十八年五月二十七日(金)に一般社団法人日本風力エネルギー学会 平成二十八年度定時社員総会において、日本風力エネルギー学会「功労賞」を受賞されました。松坂名誉教授が長年風力エネルギーの研究、利用、発展などに尽くしてきたことが評価されたとのことでした。

■OB・OG近況報告

大久保 翔太(平成二十六年卒業(株)テクノル)

私は株式会社テクノルにエンジニアとして入社しました。現在の仕事としては、複合機やプリンターの点検・修理、パソコン・ネットワークのトラブルの対応などを主にやっております。まだ分からないことも多く、作業に時間がかかることもあるのですが、日々先輩から多くのことを学ぶことで、最近では対応できるトラブルを増やしたりトラブルにかかると時間を抑えたりすることができてきました。



大学時代に学んだことは仕事でも多く活かされており、特にネットワークに関する知識は現在も非常に仕事の役に立っています。今後も大学で学んだ知識や、先輩から学んだことを活かして、日々頑張りたいと考えております。

■第十四回うみねこ会開催案内

毎年恒例のシステム情報工学科同窓会「うみねこ会」を学園祭初日に開催します。今年で十三年目を迎え、毎年多くの教職員・卒業生が集まっています。卒業生なら誰でも参加できますので、是非御参加ください。詳細は後日うみねこ会Webページなどでお知らせします。

開催日：平成二十八年十月八日(土)へ学園祭一日目へ参加予定教職員：武山泰、栗原伸夫、小坂谷壽一、藤岡与周、小玉成人、伊藤智也、山日康之、他多数
申し込み先：katsui@hi-tech.ac.jp (うみねこ会会長 齊藤克治)

うみねこ会 URL:

<http://alumni.hi-tech.ac.jp/umineko/>

感性デザイン同窓会 活動報告

OB・OGだより

平成二十七年卒業 八戸工業大学 学務部就職課

五十嵐 七果 さん

普通科の高校に通っていた私は、将来やりたいことを探すことができず、最後に好きなものを学んでみたいという思いで、八戸工業大学に入学しました。感性デザイン学科には、日々チャンスがあり、様々な活動に挑戦する機会がたくさんあります。私の大学生活は、いつも何かしら首を突っ込んで活動し、忙しいけれども充実した四年間でした。そんな日々の中で、一番力を入れたのは、デザイン活動です。地元企業とのコラボコンペで、地域の金融機関の壁画デザインに採用して頂いたり、函館で他大学の学生とのフィールドワークに参加したり、先生とゼミの皆で岩手県にあるデザインに関係するものを見て回ったりと色々な活動を行いました。また、特に思い入れがある活動は、本学がサポートしてくれた学生チャレンジプロジェクトです。このプロジェクトで、八幡馬の折り紙「はちおり」を商品化しました。三人の仲間とチームを作り、八戸の伝統工芸品を、子どもに親しまれる折り紙にリ・デザインしました。そして次のステップとして、イオンモール下田で「親子で作ろう八幡馬ワークショップ」を企画・運営し、一般の方を集めて開催しました。このような活動のおかげでIllustratorやPhotoshopと言った、デザインツールを使いこなせるようになったりしました。また、チームまたは個人で、デザインする対象の問題を、現代のニーズに合ったものに解決するための流れ、つまりデザインのプロセスを学びました。現在、学校法人八戸



工業大学の事務職員として働いております。教職の学びとデザイン活動の学びを同時に活かせる、また本学の学生出身だからこそ貢献できる仕事だと思っております。今は、仕事を覚えることはもちろんですが、「私にしかできないこと」を日々探しつつ働いています。本学の卒業生だから気づいて動けることや、デザインのスキルを活かせるようなことには積極的に取り組んでいきたいです。そして今在籍している、またこれから入学する園児、生徒、学生のために努力し、専門のスキルと共に、よき人格を持った人材を社会に送り出したいと思っております。

■新任教員のご紹介

今年度、感性デザイン学部では、新任の教員として今出敏彦先生をお迎えすることができました。先生は、阪神淡路大震災の被災経験を基に研究を志し、震災からの街の復興のために、哲学研究の側面から人々の共生の意義と可能性を明らかにすることを目指しています。先生が着任されたことで、感性デザイン学部にも更に新しい風が吹いています。先生とともに益々学部を盛り上げて参ります。



感性デザイン学部
感性デザイン学科准教授
今出 敏彦 先生

卒業生の皆様、四月から八戸工業大学感性デザイン学科に着任致しました今出（いまで）と申します。基礎教育研究センターの併任です。出身は、兵庫県神戸市です。平成七年一月十七日の阪神淡路大震災の被災経験と、平成九年からの神戸大学大学院での公共性についての研究によって、震災による街の崩壊からの「復興のデザイン」の必要性の認識を得ました。それは、単に以前と同じものを作り直すということではなく、もはやない人々との共生の記憶を大切にしながら、未来に代わり良い共生社会の探求を意味しています。さらに、欧米における公共性の基本的特徴を分析し、日本での問題状況を整理する中で、人々の主体性（自由と協調性（共生））のバランス化を図る重要性を痛感しました。平成十一年より京都大学大学院でのアーレント研究において、政治思想とキリスト教思想の関係性の分析を行い、政治、文化、宗教等の諸側面から「公共性」の可能性と諸問題について考察を進めました。これまでまでの研究成果を纏めたものが平成二十年十二月

に京都大学に提出し、受理された博士論文です（『ハナ・アーレントの「人間の条件」再考―世界への愛』平成二十五年 近代文藝社にて公刊）。教員には、グローバル化などの社会の急激な変化に伴う新たな学びに関する指導力を身に付けること、そして、複雑かつ高度化した現代社会に潜む諸問題を発見し、問題解決及び企画実施能力を持った人材を育成することが求められています。平成二十六年に実施した文部科学省委託事業「生徒主体型授業の構築」の目標は、そのような指導力を持った教員の育成でした。私が前職でコディネートしていた学生主体型授業やアクティブラーニング推進の取組みの中で、岩手県の学生と共に我が国の未来について考える機会を持ちました。会場では受け身ではなく自分の事として未来を考える自由な発想と、震災の教訓を活かしたいという熱意が溢れていました。今年、東日本大震災から五年が経過しました。被災地の一つである八戸市に着任出来たご縁を大切に、私は、地域の課題を地域全体で主体的に設定し、地域の中核リーダーの育成と同時に、次代を担う若者が既存の枠組みを超えてリーダーシップを取れるよう、に育成するプロジェクトデザイン教育活動の輪を、八戸工業大学から全国に広げたいと願っております。

■事務局だより

来年度より感性デザイン学科に「社会コミュニケーションコース」が新設されます！

来年度からはビジュアルデザインコース、住環境デザインコースに加えて、新コースの「社会コミュニケーションコース」が新設されることになりました。公共的な問題や地域社会が抱える問題を自ら発見し、グローバルな視点から問題を解決することが出来る人材の育成を目的に新設されるコースです。このように、学科も益々活性化しております。卒業生のみならずのおめでたい話も絶えず聞かれています。近くには是非お立ち寄り下さい。※写真は二期生の楠美恵子さんです。同期の結婚式で感性デザイン学科の仲間たちと余興をするということでした。先生方の写真とコメントをもらいに来てくれました。ありがとうございました。



同窓会ニュース

副学長就任のご挨拶

副学長 福士 憲一

この4月より、長谷川明新学長のもと、副学長を務めることとなりました。主に教学・改組改革関係を担当し、再任の橋本都副学長とともに学長を支えてまいります。よろしくお願いいたします。昭和五十二年に土木工学科(当時)に着任して以来、早いもので四十年目を迎えます。現在、土木建築工学科に所属し、従来と同様に教授として授業も担当しています。専門は水処理、水環境工学などです。

同窓会とは昔から縁が深く、初期には土木同窓会の設立と運営、四年前までは学務部長(当時)として全学同窓会の運営にも関わってきました。この間、いつも頭にあったのは「同窓生は大学の宝である」ということです。大学が設置された初期の頃、大学全体が様々大変だったようで、同窓生を大事にすることにやや欠けていた面もありました。今でも決して万全とは言えませんが、同窓会役員ほかの方々の御協力のもと、以前より大学と卒業生の関係ははるかに密になりつつあります。最近感動することのひとつに、求人のため卒業生が勤務先の人事担当の方と一緒に来学されることが多くなったことです。また、卒業生あるいはお知り合いの方々の御子弟が本学を選び入学する例が目立ってきたことです。親子二代にわたって教育指導することなど、卒業生が本学を信頼していることの証です。今後とも、「同窓生は大学の宝である」ことを忘れず、大学と同窓会の発展に尽力するつもりです。

退職教職員

本年三月三十一日をもって、以下の教職員の方々が退職されました。長い間お疲れ様でした。

学長 藤田 成隆
土木建築工学科教授 月舘 敏榮
基礎教育センター准教授 和田 敬世
事務局長代行 西田中 裕祥
総合企画室 主事 樺本 多佳子
総務課 工師 徳川 秀幸
総務課 警備員 花洲 次男
学生課 書記 小野寺 新也

新任教職員紹介

平成二十八年度より、あらたに採用となりました教職員を紹介いたします。今後ともよろしくお願いいたします。



田中 義幸
(基礎教育研究センター・准教授)



今出 敏彦
(基礎教育研究センター・准教授)



五十嵐 七果
(大学学務部就職課 書記)



赤坂 寿
(嘱託教育職員教育指導監)

同窓生減免制度等について

八戸工業大学では、同窓生のご子女・弟妹を対象として、入学金二十五万円を全額免除し、入学にかかる経済的負担の軽減を図っています。

また、入学時に採用する「八戸工業大学特待生制度(学業・スポーツ)」や入学後の成績等により採用する「八戸工業大学奨学生制度(同)」を実施し、保護者の皆様への経済的支援を行っています。

特待生制度、奨学生制度とも年六十万円(工学部特待生A・奨学生Aの場合)が免除となり、四年間では最大二百四十万円が免除となります。

平成二十八年度入学試験での採用実績は、学業特待生・スポーツ特待生合わせて五十三名が採用され、現在、全学で特待生・奨学生百四十五名が在籍しています。

詳細につきましては、大学ホームページや大学案内パンフレット等でご確認いただき、是非、ご活用ください。また、ご希望の申し込みも受け付けます。

お問い合わせ先・入試部入試課
電話 0120-8501276

(入試課直通フリーダイヤル)

☆同窓会報への広告募集について☆

同窓生では「同窓生の集う会」開催など各種事業を行っております。年に一度発行する同窓会報もその事業の一環であり、本会の活動内容や大学の近況等を発信するメディアとして、毎年多くの同窓生にご愛読されています。

一方で会報発行に係る経費(印刷および発送費)は同窓生数の増加とともに増え続けています。

そこで、この経費の一部に皆様からの広告費収入を充当することにより、会報発行に係る経費削減を図りたいと思います。

つきましては、この同窓会報を永続的に発行していくためにも、経費ご多端の折とは存じますが、同窓会報への広告掲載についてご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 同窓会報第23号発行付月 平成29年8月中旬
2. 発行部数 約13,000部

3. 広告規格及び金額(カラー:白黒)
 - 1) 1コマ(約6cm×4cm) ￥30,000
 - 2) 2コマ(約12cm×4cm) ￥60,000
 - 3) 3コマ(約18cm×4cm) 応相談

※広告はページ下段部に3コマまで入れることができます。

4. 申込・問合せ先 八戸工業大学同窓会本部事務局
E-mail dosokai@hi-tech.ac.jp

5. 申込期限 平成29年6月16日(金)
6. 広告原稿提出期限 平成29年6月30日(金)



学校法人
八戸工業大学

八戸工業大学 八戸工業大学第一高等学校
八戸工業大学第二高等学校 さくら幼稚園

〒039-1165 八戸市大字妙字大開 88-1
TEL 0178-25-3111(代表)

① 1コマ(約6cm×4cm)

地球温暖化対策・環境・エネルギーの

八戸工業大学

www.hi-tech.ac.jp/

〒039-1165 青森県八戸市大字妙字大開 88-1
TEL 0178-25-8000(入試課)

■ 工学部
機械情報技術学科
電子情報システム学科
土木建築工学科
システム情報工学科
バイオ環境工学科
■ 感性デザイン学部
感性デザイン学科

② 2コマ(約12cm×4cm)

同窓会事務局の連絡先（各種連絡先としてご利用下さい）

本部事務局（学務部学生課）

TEL.0178-25-8027 E-mail:dosokai@hi-tech.ac.jp

機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科（機械情報技術学科事務局）
TEL.0178-25-8010 E-mail:dosokai-m@hi-tech.ac.jp

電気工学科・電気電子工学科・電子知能システム学科（電気電子システム学科事務局）
TEL.0178-25-8020 E-mail:dosokai-e@hi-tech.ac.jp

土木建築工学科・土木工学科・環境建設工学科
建築工学科（土木建築工学科同窓会事務局）
TEL.0178-25-8076 E-mail:dosokai-d@hi-tech.ac.jp

エネルギー工学科・生物環境化学工学科（バイオ環境工学科事務局）
TEL.0178-25-8050 E-mail:dosokai-p@hi-tech.ac.jp

システム情報工学科（システム情報工学科事務局）
TEL.0178-25-8080 E-mail:dosokai-i@hi-tech.ac.jp

感性デザイン学科（感性デザイン学科事務局）
TEL.0178-25-8070 E-mail:dosokai-k@hi-tech.ac.jp

同窓会事務局から

●ご家族の方へ

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき同封の表紙にご子女現住所等必要事項をご記入のうえ、フリーFAXにてご送付下さい。

●同窓生の皆様へ

会報が届かない、見たことがないといった同窓生がおりましたら、本部事務局まで、電話またはメールで送付先（氏名、現住所、学籍番号または卒業年科）を連絡するようお願い下さい。また現住所等変更になりましたら、速やかに同窓会事務局までご連絡下さるようお願いいたします。

協賛金のお願い

平成14年3月に同窓会報第1号（創刊号）を発行以来、号を重ねて今回も約13,000名の会員にお届けすることができました。会報を通して、新たな会員相互の親交が生まれたというお話を伺います時、発行の継続が同窓会本来の目的に叶っていくものと考えます。今後、会報発行を維持していくための費用として、皆様には協賛金をお願いをさせていただいております。協賛いただいた方のお名前を次号に掲載させていただきます。掲載をご希望されない方は、恐れ入りますが、本部事務局までご連絡ください。次号もまた、皆様からの様々なご意見に耳を傾け、魅力ある紙面づくりに頑張っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同封物の見方

1 あなたの整理番号です。

2 現在、住所が判らず会報誌をお届けできない方々です。ご存知の方は、情報をお寄せいただくか、フリーダイヤルまたはフリーFAXまでご本人よりご連絡いただけるようお願いいたします。

3 現在、同窓会でお預かりしているあなたの情報です。

変更のある方はいずれかをご利用下さい。

- ①フリーダイヤル
- ②フリーFAX
- ③QRコード（携帯電話）

4 協賛金の振り込み用紙です。コンビニまたは郵便局をご利用下さい。

協賛金の振り込み用紙です。ご協力お願いします。

〒121-0831 東京都足立区人 3-11-26 整理番号 35001001

同窓 次郎 様

【協賛金（会報維持経費）に関するお願い】
同窓会活動を支えるために、毎年、協賛金を募っております。何卒できるだけご協力をお願いいたします。
本年度より協賛いただいた方の名前を次号に掲載させていただきます。
掲載をご希望されない方は、恐れ入りますが、本部事務局までご連絡ください。
※「協賛金」の詳細につきましては、会報誌をご覧ください。

▼住所未確認リスト

35001002 泉本 忍	35001031 成田 俊男	35003006 神 光好
35001008 藤田 昭昭	35001033 高橋 幸嗣	35003008 尾 考夫
35001010 木村 善彦彦	35001034 龍川 原 守	35003009 神田 亮
35001011 佐藤 司	35001036 古川 潮太郎	35003011 工藤 次敏
35001016 佐々木 仁司	35001038 岩井 考一	35003012 下斗米 一喜
35001021 國奥 秀一	35001042 菊地 克夫	35003015 清川 均
35001022 山本 裕一	35001044 島 和彦	35003016 木村 和夫
35001026 中村 則一	35002003 兼子 宣彦	35003017 三浦 悟
35001029 大久保 定明	35002004 中風 敦 孝	35003018 藤田 健一
35001030 堀中 勉	35003002 大達 寺 洋	35003019 千葉 忠志

▼FAX変更欄 (35001001 0120-10-9899-機械科1期) 住所変更などありましたらご記入下さい

〒121-0831 東京都足立区人 3-11-26 同窓 次郎 様

連絡先: 同窓会事務局

協賛金: 2000 円

協賛金振込口座: 八戸工業大学同窓会 協賛金振込口座 口座番号: 001605 口座名義: 八戸工業大学同窓会

協賛金振込用紙: 001605 749893 2000

協賛金振込用紙: 001605 749893 2000

協賛金振込用紙: 001605 749893 2000

＜お問い合わせ＞

フリーダイヤル 0120-10-9899 (内線92) 平日10:00～17:00
フリーFAX 0120-10-9184 24時間受付